

施策番号 5-1-1	施策名 徹底した情報共有と町民参加の促進	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり			
		政策名	多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり			
	主管課	企画財政課	課長名	石田 哲	内線	220
	施策関係課	総務課				

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
住民と行政が情報共有し、主体的なまちづくりへの参加を促進します。		町民	・町民と行政との情報共有を行い、まちづくりに自発的に参加してもらう				町民のまちづくりへの参加意識を高め、町民が主役となったまちづくりを進める	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度(予想)	2022年度目標		
①	行政情報の公開や説明責任が果たされていると思う割合	住民意識調査	%	90.6	71.8	80.0	90.0%以上	
②	町ホームページのサイトへの訪問者の数(セッション数)	1日あたりの訪問者数の平均	回	406	512	500	500回以上	
③								
④								
成果指標設定の考え方	①策定時の90.6%は従来手法(「どちらでもない」を含む5択から、「どちらでもない」の回答を引いて再計算したものである)での調査結果であり、新手法(「どちらでもない」の選択肢を含まない4択)においても、同水準を目指すもの。 ②策定時の数値から、2割以上の増を目指すもの。							

## 2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算
施策事業費(千円)	23,915	29,209
人工数(業務量)	2	2

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2019年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	めむろ未来ミーティングの回数増加など、様々な手法を取り入れているが、すぐに成果が期待できるものではない。
②2022年度の目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	ホットボイスの手段の増加、めむろ未来ミーティングの回数増加、SNSの活用など、手法の拡大を図っているが、更なる工夫を行う必要がある。
(2) 施策の成果評価に対する2019年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	広報事業 広聴事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	●巡回型のめむろ未来ミーティングにおいては、町長班と副町長班に分けることにより、より細やかに地域を回れるようになった。 ●長年の懸案事項であった、ホームページのリニューアルを行った。		

**(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果**

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

**4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等**

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 自分が直接関わることの少ない事業については、関心が薄くなるのが一般的であり、結果として、説明責任が果たされていないと感じてしまう場合もある。</p> <p>《今後の予測》 SNSなど情報を入手する手段を拡大していくことが成果の向上につながるものとする。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニューアル後のホームページに関する意見が多く、更なる改良が必要である。</li> <li>・ICTを活用するための通信基盤の整備を求める声が多い。</li> </ul>

**5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙では、詳細かつタイムリーな情報を伝えきれないため、ホームページとの連動が必要である。</li> <li>・LINEなど、新たな媒体の活用を検討する必要がある。</li> <li>・オンライン形式のめむろ未来ミーティングなど、時代に合わせた手法を検討する必要がある。</li> <li>・Society5.0などに対応した、通信基盤の整備を早急に実施する必要がある。</li> </ul>
--

**6. 総合計画推進委員会(庁内評価)**

評価	各種広報手段・広聴手段の拡充を図り、情報に合った手法での発信、タイムリーな情報発信を行っていることから、前進したと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	時代や年代、情報に合わせて様々な手法を活用し、有効的に情報発信をしてもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 実現した</li> <li>B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</li> <li>C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した</li> <li>D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない</li> <li>E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した</li> </ul>				

**7. 総合計画審議会(外部評価)**

評価	様々な媒体を活用しながら情報発信を行っていることから、前進したと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等を活用することは必要と思うが、SNS等を利用できない人もいるため、町としてのメインの情報発信ツールを持つべきである。</li> <li>・SNS等の記事における表現方法について、配慮してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 実現した</li> <li>B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</li> <li>C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した</li> <li>D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない</li> <li>E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した</li> </ul>				